

きこり 通信 2023年 春

ご感想お寄せいただくと励みになります。また、紙面では伝えきれない情報や最新案内を載せていくウェブサイトを開発予定です。乞うご期待。

- 主な内容
- 基本姿勢と受け口づくり、身につく、楽しむコツ
 - 写真で振り返る今年度あれこれ

2月に横田で行った実践研修の一コマ▶

2023年春号(第12号) 令和5年3月28日発行



◀ 研修に参加すれば、受け口の形や修正履歴がこの株から想像できるようにになります。

基本姿勢と受け口づくり、身につく、楽しむコツ

これまで2回にわたって、山に行かなくてもできる、訓練と準備について記事にしました。チェーンソー操作の基本姿勢、ソーチェーンの目立て。最初に正しく身につけると上達が格段に違ってくるし、経験を積むほどに磨きもかかる面白い事項です。忘れないよう見直してもらいつつ、今回は基本

姿勢の「ダメな例」を取り上げ、あわせて受け口づくりのコツにせまります。


姿勢の練習は効果が出やすいから楽しい

正しい姿勢とは、野球やテニスなどのスポーツでいえば、難しい球も打ち返せて、見た目にもかつ

こいいこと。合理的でコントロールが効くフォームです。チェーンソー・ワークも実は同じ。狙ったところへピタリと倒せ、無理無駄がなく美しいものです。

身につける王道は、これもスポーツと同じく素振りです。チェーンソーを持って、立った姿勢・中腰・膝つきの3つと、ハンドル位置を変えながら、傾きや握りを確認してみましょう。地味に思えて、効果が出やすく楽しくなります。

さて左が「ダメな見本」です。研修を受けているなら、あり得ないこと満載ですが、中腰姿勢は、ボロが出やすいのも確か。また、実際の現場は、すべりやすい急な斜面だったりして、理想の姿勢が常にとれるわけではありません。

ただ基本姿勢が身に (裏へ続く) 

チェック



大ケガにつながるダメな姿勢 (危ない、疲れる、うまく切れない)

脇がガラ空き状態でチェーンソーの支持点がない。

チェーンソーが両手からぶら下がり、腕と手の握りだけで支えている。腰を痛め、体の重心も不安定で、疲れやすく、チェーンソーが暴れやすい。

*正しい姿勢は、初秋号(10号)をご覧ください。

両足が揃ってしまい軸足となるべき右足が浮いている。

右手がグリップできていない。握り方が間違っている。

両方とも、鋸道に顔が被さっている。癖になるとなおりにくい。これではキックバックで、顔のど真ん中にストライク。



ついていけば、いちいち考えなくても、ベターな姿勢に身体が導いてくれるようになります。

受け口づくりは姿勢が正しいことが前提

受け口づくりは、下側の水平切り線と斜め切り線がきれいに一直線にあっていなければなりません。これが初心者には難しいところ。水平線がどうしても斜めになる、切りすぎてしまいうまく合わせられない……。『ある、ある』という人、基本姿勢を見直してみませんか？

受け口づくりは微妙なアクセルワークや、チェーンソーの正しい保持がないとうまくいきません。それらはいいフォームか

ら生まれるもの。下の図を参考にしながら姿勢を見直すことと、丸太を縦に置いての水平切り練習が有効です。お試しあれ。

チェック



いいフォームからいい受け口ができる (姿勢が大事なわけ)

水平切り線が斜め。右手の握りが悪いため、アクセルが制御しにくい。



悪い姿勢ではないものの、右との違いは小さく見えて大。



チェーンソーの支持点と体の重心が重なり、ぶれない。



写真で振り返る今年度あれこれ (2023・令和4年度)

●活動を写真で振り返ってみました。大事なところは、写真に撮れない、目に見えないものではありますが、忙しい合間の一時にでも、眺めてもらえれば幸いです。



◀左は7月の、右は11月のチェーンソー研修。女性の参加者が増えています。



◀子ども版きこりプロジェクト (みーもスクール)、11月の仁多中学校。短時間ながら集中・充実した内容でした。



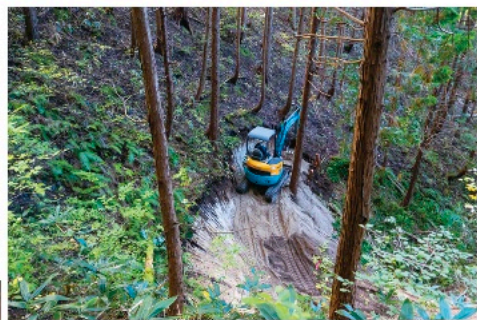
▲子ども版きこりプロジェクト (みーもスクール)、こちらは6月の横田中学校。

お知らせとお願い

●次年度から従来の事業を継続しつつ、新たな試みをはじめます。新会員も歓迎募集中。よろしくお願ひ致します。

奥出雲町オロチの深山
きこりプロジェクト事務局
〒699-1431 上三所 66-1
☎ & FAX: 54-1635
メール kikori@s-orochoi.org

▶10月の作業道敷設支援事業。業山がよくなっています。



▶2月19日の実践研修。



▲8月27日の山林見学会。急坂がきつい。